

一般質問 議:議員/理:理事者

- 敬老会事業の内容や今後のありかたについて
- 中学校再編に伴う子どもの心のケアと相談支援体制について

その他の質問

- ・ SNSを最大限活用した市のPRについて
- ・ ゆめおーれ勝山の多目的広場を駐車場に活用してはどうか
- ・ まちづくり会館の改修について




浦上雄次 議員

議 敬老会の参加率低下に伴い、今後勝山市型の「新しい敬老会」を考えていく必要がある。市としても各地区と連携して、改めて敬老会の内容を楽しい交流の場として改革すべきだと考えるが、見解を伺う。

理 敬老会の参加率は、半数の地区では増加傾向にあり、内容も運動やコミュニケーションができる参加型の企画を盛り込んだり、会の名称を変更したりするなど、高齢者が楽しめるよう各地区が工夫を凝らしている。市も、移動手段がない方のために、送迎用のバス代を各地区の委託料に上乗せしている。

地域の自主性を尊重しながら、好事例など情報共有に努め、より多くの方に参加いただける敬老会となるよう支援していく。

議 市内全ての中学生が再編によって集まることで、教員を入れて500人ほどの中学校になる。これは小規模校から進学する子ども達にとって大きな環境変化であり、不安やストレスを抱える子どもも少なくない考える。

スクールカウンセラーの相談状況について、どのような相談が多く寄せられているのか。また、いじめや不登校など重大事案について、どのような連携体制を構築し、相談体制を強化していけるのか、見解を伺う。

理 相談内容は、小中学校ともに「人間関係」の相談が最も多く、次いで小学校では「自分自身」、中学校では「不登校」や「学業・進路」の相談が多い状況である。

重大事案については、チームで対応するほか、必要に応じ市教育委員会や関係機関と共有し、いじめの解消に努めている。また、不登校については、スクールカウンセラー等の専門家と連携し一人ひとりの状況やニーズに応じた対応に努めている。

一般質問 議:議員/理:理事者

- スクールバスの位置情報LINEシステム導入について
- イベント時の駐車対策としての自宅駐車場貸し出し予約システムについて

その他の質問

- ・ 子どもたちの悩み相談に対話型生成AIを活用することについて
- ・ 墓じまいの世帯向けの合葬式墓地設備について




市議会 下道恵子 議員

議 スクールバス運行中、冬季は雪の状況で時間通りにバス停に着けない日も想定される。そんな時のためにバスの位置情報をリアルタイムで保護者のスマートフォンに通知してくれたり、ドライバーの運転状況をチェックする危険防止機能がついているシステムを導入しないか市の考えを伺う。

理 位置情報システムの導入は教育委員会でも検討したが、スクールバスを運行している県内他市町ではほとんど利用されていなかった。危険運転等による事故防止については、システムに頼るのではなく、日々の運行マニュアルの順守や指導など運用面で適宜対応する。まずは安全管理を徹底した上で運行を開始し、システムの必要性が確認できれば、改めて対応を検討していく。

議 毎年、年の市や左義長まつりでの駐車に苦勞する話を聞く。そこで、一時的に会場の近隣の方の自宅の駐車場を借りる民間の駐車場予約システムを市でも駐車場対策として利用しないかを伺う。

理 「自宅駐車場貸し出し予約システム」は、個人宅や事業所などの空いている駐車場をインターネットで予約し、一時的に貸し借りできるサービスで、来訪者の利便性向上や駐車場不足の緩和に一定の効果が期待できるが、駐車場不足は年間数日であること、多くの協力がなければ渋滞削減効果が出ないことなど、クリアすべき課題が想定される。

自治体が主体となって導入・運用を行う場合、リスク管理や苦情対応、投入する労力に対する費用対効果など検証も必要だが、市民が観光の経済効果を直接享受できる方法の1つとして期待できるため研究する。